

東日本版

北海道運輸局、東北運輸局管内の情報を総合的に報道しています。

新星ハイヤー

横転の危険警告

「重心検知システム」国内初導入



車両に搭載された検知システムの端末画面。警告音のほか、色でも危険度が分かる

新星ハイヤー(北海道北
斗市、阿部恒義社長)は国
内ハイヤー・タクシー業界
で初めて「重心検知システ
ム」をチャンボタクシー1
台に試験導入した。車の重
心をリアルタイムで測定
し、横転事故の可能性があ

ると警告するもので15日、
本社で搭載車両を関係者に
披露した。乗務員からは
「教官が隣にいるような安
心感」との声が上がってお
り、重大事故防止対策とし
て導入の効果が注目され
る。
システムは東京海洋大学
の渡邊豊教授が開発した3
次元重心検知理論アルゴリ
ズムを搭載。もともとは積
み荷で重心が変わる船舶用
に開発したが、トラックや
バスにも応用して作られ
た。
小型計測器の外付けと運
転席に表示端末を付けるだ
けで、大幅な車体の改造は
必要なく、車検にも問題な
いという。道内の販売は北

海道中央バスグループの中
央バス商事(札幌市)が担
当。価格は20万円程度だが、
今後コストダウンを図って
いく。

導入を決めた新星ハイヤ
ーは保有タクシー20台のう
ち、3台がチャンボタクシ
ー。観光タクシーに積極的
に取り組んでおり、「北海
道の観光タクシーは北斗市
の隣、函館から札幌までで
も300台以上。冬は風圧
やアイスバーンで横転事故
の可能性が高くなる」(阿
部社長)ことからシステム
搭載を決めた。
3月26日には北海道警特

線が開業予定。同社が拠点
とする道南地区の観光客の
増加も見込まれるという。
「乗務員教育はしている
なるのではないか」(同)と
が、運転業務そのものは乗
務員に完全に委任となっ
ていた。直接管理できないこ
とに対する一つの解決策に
なるのではないかと(同)と
大きな期待を寄せている。